

しろいしの 地方創生

～住みたいまち・住み続けたいまちを目指して～

市では、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図り、少子化や人口減少を克服しようと、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、国の地方創生交付金などを活用しながらさまざまな「地方創生」事業に取り組んでいます。

今月号では、市が現在取り組んでいる主な地方創生事業や、今後実施していく事業についてご紹介します。



☎地方創生対策室 ☎22-1561

新しい人の流れをつくるために

お試し住宅整備事業

白石の魅力に直接触れてもらい、移住後の生活を思い描いてもらうことを目的として、空き家を活用して短期的に生活体験ができる住宅を整備します。

宮城野信夫・団七踊り魅力向上事業

江戸時代に歌舞伎などで上演された「基太平記白石斬」がもととなり、全国に伝わった仇討ち話「団七踊り」に関連する史跡や展示物の整備・調査、各種イベントの開催などを通して、新たな白石の魅力発信を強化します。



▲大鷹沢小の団七踊り引継式。真剣な表情で踊る児童たち

(仮称)移住支援センター整備事業

市中心部の空き店舗を活用して、「(仮称)移住支援センター」を整備します。同センターでは、移住・定住希望者の相談や移住・定住に関する情報発信、お試し住宅の運営をはじめ、「白石の魅力」を体感するツアーや「若者のUIJ」ターンを促進するツアー」の企画などを行います。



▲空き店舗を活用する(仮称)移住支援センター整備予定地(東小路地内)

事業 戊辰戦争150年魅力向上

平成30年は戊辰戦争から150年の節目の年。奥羽越前藩同盟の舞台となった白石城をはじめ、関連する史跡や展示物の整備のほか、関連イベントの開催など、本市の歴史文化の魅力発信を進めます。

白石の地方創生事業戦略

- ①「教育環境の整備」「子育て支援」「移住定住の促進」「雇用の創出」などの分野で、独自性を持った事業を多面的に推進します。
- ②「農産物ブランド化・6次産業化推進」、「伝統産業の継承」、「白石の魅力向上事業」など、賑わいの創出や地域活性化を目指した地方創生の「核」となる事業を、国の交付金などを活用して積極的に展開します。

安定した雇用の創出のために

ICT(情報通信)技術に対応した次世代技術者育成事業

学生をはじめ、スキル習得やキャリアアップを目指す方々にドローンなどICT技術の習得・体験ができるスクールの開設支援を行い、若者などの人材育成を促進します。

起業・継業セミナーの開催

東北財務局・日本政策金融公庫と連携して、仙南地域で新たに起業・創業・継業を検討している方々に、創業時の心構えや事例紹介の講演会、個別相談会などを行うセミナーを開催し、起業・創業の促進を図ります。

弥治郎こけし村 リノベーション事業

展示・販売・体験交流スペースなどを大幅に拡充させるリノベーション(大規模改築)を実施し、弥治郎こけしの伝承と魅力発信を強化します。

地域ブランド確立事業

地域資源を活用した新たな商

品開発(新白石三白)など、新たな地域ブランド創出に向けた取り組みを推進し、稼ぐ力の向上を進めます。

食味日本一の「しろいし米」 復活プロジェクト(継続)

平成28年3月、「食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト」が生産者5人で発足。平成元年に民間調査会社が実施した食味検査で日本一に輝いた、ササニシキ復活プロジェクトがスタートしました。本年度は、新たに2人が加わり、作付面積も3.5ヘクタールから6.5ヘクタールに拡大。農産物のブランド化に向けた取り組みを継続支援します。



▲2年目を迎えたササニシキ復活プロジェクト

～農商工振興施設と子育て支援・多世代交流複合施設を一体的に整備～

農 商 工 連携を核とした 賑わい交流拠点 を整備します

若い世代を中心とした定住支援や子育て支援の強化を図るとともに、仕事と生活の調和のとれた魅力ある地域づくりを推進！ 福岡長袋地内の国道4号沿いの遊休施設を活用し、民間事業者と協力しながら「農産物等販売施設」や「地元食材活用レストラン」、「6次産業化加工施設」などの農商工振興施設と、大型遊具や交流スペースなどを備えた「子育て支援・多世代交流複合施設」を合わせた「農商工連携を核とした賑わい交流拠点」を、国の地方創生交付金を活用して平成29年度から平成31年度にかけて整備します。

施設所在予定地

白石市福岡長袋字八斗時地内ほか(敷地面積合計 約16,640㎡)
【旧白石市学校給食センター、旧白石市生ゴミ資源化事業所、民間店舗跡地】

整備施設・整備開始予定年度

【平成29年度から整備】

- 子育て支援・多世代交流複合施設
- 6次産業化加工施設

【平成30年度から整備予定】

- 農産物等販売施設

【平成31年度から整備予定】

- 地元食材活用レストラン
- 6次産業化商品開発・研修施設



▲農商工連携施設整備予定地空撮図(白石市福岡長袋地内)

※各施設は、平成30年度以降、順次オープン予定です。各施設の詳しい整備概要やオープン時期などは、随時広報しろいしなどでお知らせします。